様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	朝日総合体育館　他6施設	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	特定非営利活動法人　総合型地域スポーツクラブ 愛ランドあさひ	所管課	生涯学習　　課
指定期間	令和４年４月１日～令和９年３月31日（５年間）	評価者（課長）	平山　祐子

１　令和７年度の実績

（1）事業実績

利用実績	利用者数（７施設）：40,722人、スポーツ事業：15事業実施（参加者数 2,849人）
サービス向上の取組	・地域で活動するスポーツ団体と連携した各種スポーツ大会を企画運営 ・SNSを活用した情報配信及び学生スタッフ参集の継続 ・地域のニーズ等に応じた教室及び講座の開催

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	42,471	42,590	43,513	128,574	基本協定額：　214,071　千円
	利用料金	522	504	576	1,602	
	事業収入	587	721	753	2,061	
	自主事業収入	241	398	522	1,161	
	その他	199	155	134	488	
	収入合計　①	44,020	44,368	45,498	133,886	
支出	人件費	14,339	14,465	14,752	43,556	
	福利厚生費	2,313	2,353	2,145	6,811	
	事務費	908	881	1,060	2,849	
	管理費	20,221	20,168	19,573	59,962	
	水道光熱費	6,208	5,948	6,026	18,182	
	修繕料	1,649	1,649	1,650	4,948	
	使用料・リース料	2,049	1,813	1,169	5,031	
	手数料・保険料	510	426	468	1,404	
	委託料	9,805	10,332	10,260	30,397	
	事業費	1,336	1,628	1,510	4,474	
	自主事業経費	185	342	296	823	
	その他	3,638	3,716	4,788	12,142	
	支出合計　②	42,940	43,553	44,124	130,617	
収支差額（①－②）		1,080	815	1,374	3,269	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

3　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

①施設及び設備、敷地内木々の老朽化
　施設等の老朽化が進んでいる。予算の範囲内で修繕及び維持管理を行っているが、1件当たりの規模が拡大傾向にあるほか、物価高騰で費用も高額になっている。
②水銀灯の生産終了に伴う屋内外設備の計画的なLED化
　朝日総合体育館アリーナ及び朝日多目的グラウンドのランプ（水銀灯）及び安定器の生産が終了しメーカー在庫のみ（R7.3時点）。また、安定器は屋内外ともにメーカー在庫もなくなっているため安定器の取替修繕は不可能である。ランプも在庫数に限りがあるため早急なLED化が必要であるが、取替費用が高額なため市と連携を図り段階的な計画が必要である。
③物価高及び賃金水準の急激な上昇に対応した委託料等の見直し
　最低賃金の引き上げは、指定管理業務の日常清掃や代行業務等の業務委託料や法令に基づく建築物定期調査や消防設備点検等にも影響していることから、業務委託料等においても5年間定額から物価及び賃金水準に対応が必要である。
④事務室のパーソナルスペースの確保が不十分
　職員数に対して事務室が狭くパーソナルスペース(社会距離:120～350cm)が維持できない。
⑤大雪の対応
　降雪時期、毎朝職員による除雪を実施。大雪の日は1日で5人×3時間×3回の作業になることもある。

（2）課題解決に向けた取組

①施設の老朽化への対応
　教育委員会はじめ朝日支所関係課等への相談により的確な助言をいただきながら維持管理業務を行っている。
　また、限られた予算内での修繕措置や施設維持管理は、業者と現状を確認しながら実施している。
②SNSによる屋外作業協力等の呼びかけ
　夏季の散水作業では、昨年度に引き続きアルバイト募集をSNSで呼びかけし、帰省の大学生等数名の人材を確保できた。職員の負担軽減につながるとともに、その他様々な事業運営にも参画している。
③地域のニーズ等に応じた教室及び講座の開催
　人気のあるストリートダンス体験会を開催した後、次年度通年開催を見越した教室を開催することができた。
　また、スポ少活動時に嘔吐した団員がおり、正しい嘔吐物の処理ができなかったことを受け、元養護教諭の方を講師に嘔吐物処理講習を実施した。
④分室の設置
　令和7年度、朝日ひまわりルームが総合文化会館に移設し、健康相談室が使用できるようになった。十分なパーソナルスペースを確保し余裕を持って業務が行えるよう無線LAN等のネットワーク環境を整備して、指導者のスタッフルームとした。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

〇朝日総合体育館及び朝日多目的グラウンド照明の取替修繕措置
　照明の不点灯取替修繕工事は高額で、一度に（一気に）取替修繕ができていないため競技によっては支障を来たすことがある。屋内外施設の照明（水銀灯）及び安定器が生産完了していることから、令和6年度に屋内照明、令和7年度に屋内・屋外照明を業者と調査・確認しながら取替修繕措置を施した。今後も点灯状況を確認しながら修繕等を行っていく。
〇遊具の要望
　朝日山村広場に設置されている滑り台及び4連ブランコが錆による腐食が進行しており、令和5年度から滑り台を使用禁止とした。朝日地区内で安心して遊べる唯一の施設であることから、引き続き市へ遊具の更新の要望を提出していきたい。

②その他

4　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

〇事業運営
　各種スポーツ大会では、地域で活動する団体の協力により大会運営を行っている。
　令和7年度に開催した3大会（成人対象のバスケットボール大会、軟式野球大会、6人制バレーボール大会）は、指定管理施設を有効活用して計画し、予定していたチーム定員を上回り盛大に実施することができた。
　地域ニーズに対応した新しい教室の立ち上げや、発生した事案に対する講習会の開催など、スピード感をもった事業を行った。
〇施設維持管理
　屋外作業は季節作業員のほか、役員や職員も芝刈りや草刈り、散水、除雪を行っている。
　施設の維持管理及び修繕は、費用が高騰しているため役員や業者と確認・相談しながら安全に利用できるよう実施している。
　また、窓口対応や維持管理の方法など他クラブにも相談・情報共有している。

（2）施設所管課の評価

限られた収入の中で施設運営・管理を効率的に実施し、行き届いた清掃の徹底を行い安全で快適な施設提供がされていることは評価できる。
朝日総合体育館で延べ32,472人（前年度比3,224人増）、朝日球場・朝日多目的グラウンドで延べ7,777人（前年度比360人程度増）と一定数の利用者を保ちながら施設利用料の確保に繋げている。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

今後とも施設の適切な維持管理と地域住民の健康増進に資する事業を実施・展開してもらいたい。
引き続き、SNSなどの時代にあった情報配信を活用し若年層を含む幅広い広報活動を行ってもらいたい。